

7月3日

3年生3クラス道徳授業公開

3年生は「学校のリーダー」「学校の顔」と言われるのは、生徒ばかりではありません。3年職員も、この学校の「リーダー」であり「顔」であるのです。

この日の4時間目に、3年生3クラスがそろって道徳の授業を行いました。そして、それを1,2年生の職員対象に公開しました。3年生職員の進める道徳授業を参観して、教師としての勉強をする機会でもあったのです。



3年A組の道徳風景



3年B組の道徳風景

担任が資料を読むときにも、生徒全員が文章に集中しています。話の中身に関する発問にも、多くの挙手がありました。

これからは、「考え、議論する道徳」を目指し、担任を介さず生徒同士が互に関わり合う授業を目指します。その基礎は十分備わっている3年生3クラスの道徳授業でした。

扱った資料は「心から信じあえる友を」。「友情・信頼」を学ぶ資料です。

さすが3年生！授業は落ち着いた雰囲気の中で始まりました。しかし、担任が「友達とは、どういう存在のこと？」と切り出すと、すぐさま手が挙がります。仲間の前で堂々と自分の考えを語る姿は最高学年にふさわしいものでした。



3年C組の道徳風景